

<事業名> 行政と進める「地域の減災防災活動」

団体名	新温泉防災リーダーの会
所在地	美方郡新温泉町
代表者名	加藤 博

事業内容	<p>新温泉町では平成2年台風19号の河川氾濫に因る尊い人命が奪われて以降、幸いにも大きな自然災害には遭遇しておりません。素直に喜び平和な日常に感謝しなくてはなりません。でも、有り難い反面「防災意識・減災意識」が著しく低いように感じられます。自然災害が来ないとは断言できません。『防災は「他人ごと」でなく「我がこと』『自分の命は自分で守る』町民の防災・減災の意識の啓発が、「地域の防災力の向上」に寄与されるべくそんな思いで日々精進しております。</p> <p>設立2年目の本年は年初以来コロナ禍の見通しが難しい中、3密に配慮しながら研修会等の活動に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 防災減災啓発チラシの町内全戸配布 (5,637世帯)・ こども園や青推協での親子で防災教室・ 地域区長会との防災研修会 (3会場)・ 町社協の「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」&「1.17を忘れない写真展」等に協力 <p>防災減災研修会等を通じて、個々の防災減災意識の啓発と共に地域防災力の向上にボチボチではあるが貢献しているつもり。(自己満足かな?)</p>
地域	新温泉町全域
事業の効果	<p>① 団体(組織)内の効果 18人の小人数の団体の強みで、まとまり易い純然たるボランティア団体。 個々のメンバーの自己研鑽が素晴らしい。 協調・連帯の互譲精神の醸成</p> <p>② 地域への効果 設立2年目で、啓発チラシの配布、地元ローカル紙「日本海新聞」の活動記事掲載等により、町民の関心も徐々ではあるが高まりつつある。精進あるのみ。</p>

事業経過	<p>年 月 日</p> <p>R2. 04. 01</p> <p>R2. 04. 20</p> <p>R2. 07. 29</p> <p>R2. 10. 02</p> <p>R2. 10. 22</p> <p>R2. 10. 25</p> <p>R2. 10. 29</p> <p>R2. 10. 31</p> <p>R2. 11. 10. 11</p> <p>R2. 11. 23</p> <p>R2. 11. 25</p> <p>R2. 11. 28</p> <p>R2. 12. 03</p> <p>R2. 12. 19</p> <p>R3. 01. 15</p> <p>R3. 01. 19</p> <p>R3. 01. 23</p>	<p>会議案内準備</p> <p>令和2年度通常総会（コロナ禍に因り中止）</p> <p>令和2年度臨時総会：浜坂サンシーホール</p> <p>「減災防災啓発チラシ」7,000枚 印刷発注：湯村印刷</p> <p>「減災防災啓発チラシ」町内全世帯5,637戸に「役場区長便」で配布</p> <p>町総合防災訓練「災害ボランティアセンター」立ち上げ訓練に参加4人</p> <p>浜坂自治区役員との「減災防災研修会」：浜坂サンシーホール</p> <p>豊岡市立神美小学校「防災授業」視察研修&豊岡防災士会との懇談会</p> <p>新温泉町立大庭認定こども園オープンスクール「防災教室」（2日間）</p> <p>温泉地区青推協「親子で防災教室」：薬師湯2F集会室</p> <p>フォローアップ研修：講演「日本海新聞記者松本妙子講師」ジオパーク館</p> <p>温泉地域区長協議会八田区との「減災防災研修会」：八田コミセン</p> <p>温泉地域区長協議会温泉照来区との「減災防災研修会」：すこやか〜に</p> <p>雪かきボランティア活動（宮脇・岸田・海上地区）町社協に同行3人</p> <p>メモリアルイベント「1.17を忘れない写真展」：多目的ホール（3日間）社協に協力</p> <p>はまさか子育て支援センター「防災教室」</p> <p>浜坂地域区長協議会大庭区との「減災防災研修会」：ジオパーク館 終了後「役員会」</p>
協働の相手方	<p>新温泉町社会福祉協議会とは、相互信頼の良好関係を構築している。 特に社協の職員は大半が女性であり、男性は特に重宝されている。</p> <p>① 災害ボランティアセンター立ち上げ運営訓練 会場設営・運営</p> <p>② 雪かきボランティア活動</p> <p>③ 1.17メモリアルイベント「1.17を忘れない写真展」会場設営・運営</p> <p>④ 社協の会長が委嘱する「ボランティア運営委員会」のメンバー</p>	
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>① 団体（組織）の課題 会員の拡大（新年度はひょうご防災リーダー講座が但馬管内で開催予定） 会員との通信連絡手段の検討（メール等）</p> <p>② 地域の課題 町行政（トップ）との信頼関係の構築 町職員も「ひょうご防災リーダー」称号取得に挑め</p> <p>〈令和3年度以降の事業計画〉 会員の自己研鑽及び研修会の開催 各地域に出向いて防災減災意識の啓発活動 新温泉町婦人会様との減災防災研修会開催（新年度早々） 新温泉町立高齢者大学「とちのみ学園」防災講演会（新年度5月OR6月） 新温泉町立高齢者大学「宇都野学園」防災講演会（新年度5月OR6月）</p>	



R02. 10. 29 浜坂自治区役員様との防災研修会
(豊岡防災士会より案内)



R02. 10. 31 豊岡神美小学校防災授業視察研修



R02. 11. 28 温泉地域区長協議会八田区長会との
防災・減災研修会



R03. 01. 19 浜坂子育て支援センター「防災教育」